

金城学院高等学校

江尻 嘉修先生

「大学時代に合気道部で学んだ礼儀は今、自分のプラスになっている」と語る江尻先生。現在も合気道を通して生徒たちに礼儀やけじめの大切さ、文武両道の精神を教えていらっしゃいます。また国語教師としてさまざまなことを教材に、常に生徒たちの目線に立って授業を進められる一面も。時に優しく、時に厳しく生徒たちを指導していらっしゃいます。



武の心を通して、技だけでなく
礼儀やけじめも教えていきたい

よしのぶ
江尻嘉修先生／1977年皇學館大学国文学科卒業。同年から金城学院高等学校の国語教師に。その後2年間中学校で教鞭を執り、再び高校で国語を教えるかたわら、合気道部の顧問として23年間生徒の指導にあたっている。現在合気道五段。平成20年度愛知県私立学校優秀教員表彰受賞、平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰受賞。

教師になりたい夢を持ち 部活に励んだ学生時代

私が教師になりたいと思ったのは小学校6年生の時です。当時の担任の先生は新任で、何よりも児童のことを一番に考えてくれるすばらしい先生でした。子ども心に「こういう先生になりたい」と思ったことを覚えています。中学では偶然にも1年から3年まで担任はすべて国語の先生でした。私自身も勉強の中では一番国語に興味がありましたし、「よし、国語の先生になろう」と思いました。最初は小学校の教師になりたかったのですが、勉強するうちに「中学か高校の国語教師になりたい」と思いはじめ、文科系の大学をめざしました。

そう思う一方で、実は体育の教師にも憧れを持っていました。子どもの頃から体を動かすことが大好きで、特に球技が得意でしたから。中学、高校とずっとバスケットボール部に所属して、まさに毎日練習一色の日々を過ごしました。その経歴から金城学院高校でも、合気道部の顧問になる前はバスケットボール部の顧問をさせていたでいていました。

大学に行ってもバスケットボールを続けようと思っていたのですが、残念なことに私が進んだのは神道系の大学でバスケットボール部がなく、合気道部に入りました。これが私と合気道との出会いとなったのです。



大学当時、合気道部の江尻先生

合気道のけじめと礼儀が 社会に出てからプラスに

私が教師になった当初、金城には合気道部はまだありませんでしたが、ある生徒のお父様が合気道をやっていたらっしゃって、その生徒から「自分も合気道をやりたい」との声が上がったので合気道部を立ち上げることにしたのです。最初は生徒2人と顧問の私のみ。室内の練習場所もないので、校庭の片隅にあるコンクリートの上にマットを敷いて受け身の練習などをしました。

現在は60人の部員がいますが、練習や礼儀作法は大変厳しく教えていきます。まずは挨拶がちゃんとできるようになること。武道では何より礼儀が重んじられます。先輩への挨拶はもちろんのこと、先生やご両親など目上の人に対する挨拶や態度がきちんとできる人間になることが大切なのです。私は大学時代、合気道部で先輩から技だけではなくけじめや礼儀について大変厳しく指導されました。その時は

つらく苦しいこともありましたが、今となってはその教えが自分の人生にとってプラスになっていると実感しています。感謝の気持ちを持って目上の人や友人、そして家族に挨拶ができるようになること。公私のけじめがちゃんとつけられる人間になること。生徒一人ひとりが、人として恥ずかしくないように育てほしいと願い、毎日指導にあたっています。

生徒たちの目線に立って 互いに教え、教わる関係に

私が担当する国語の授業では、まず1年生には「国語を好きになることが大切」と教えています。国語は普通の身の回りにある事柄や情報など、あらゆるものが教材になる教科です。そのため、教科書以外にも今の生徒たちに興味がありそうな話題や事柄を教材にするなど、1人でも多くの生徒が国語を好きになれるように私自身も努力しています。またこうした教材作りのために生徒の目線に立ってテレビ番組から情報を得たり、生徒の間で流行っていることなどを調べたりすることで、逆に新しいものの見方や考え方を生徒たちから教えてもらうこともあります。まっすぐ素直で感性豊かな生徒たちの意見は時にハッとさせられるような感動を与えてくれることもあります。

その他に生徒指導も行っていますが、ここでも金城の生徒たちの質の高さにあらためて感心させられることが多いです。例えばバスの乗車時は周りの人を見ながら譲りあって昇降する、注意されても「すみません」と謝れる素直な子もたくさんいます。注意することは数少ないのですが、それでも日々通学路に立って指導しています。

教壇に立って30年余り。生徒たちとの年の差はどんどん開いていきましたが、これからも同じ目線に立って教え、教わる関係を築けたらと思っています。その中で厳しさや優しさ、礼儀やけじめを教え、生徒たちがすばらしい女性となって巣立ってくれるよう指導していきたいと思っています。

江尻先生はどんな人!?



合気道部の3年生に江尻先生の印象を伺ったところ、皆さん「厳しくて優しい」と声を揃えました。「何事にも熱く、部員のことを大切にしてくれる」「練習中はとても厳しいが、合宿などでは楽しいイベントを考えてくださる」「部活以外の場所では気軽に声をかけてくださる」という話のほかにも「先生はおしゃれ」「笑顔が素敵」などの声も聞かれました。